

通信

NO. 46
平成28年11月号

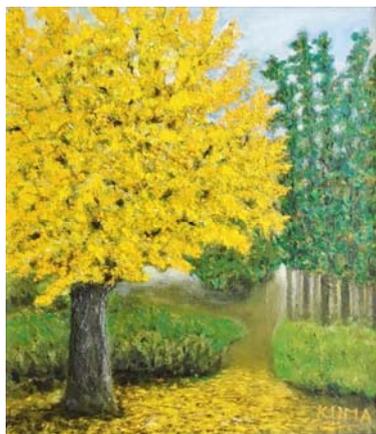
ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

今月のスケッチ



(銀杏 油彩 F10)



スタ
コラ

求ム! 恩返し情報

柿本 和人

先日、とある秋のイベントで魚の手づかみを体験した。

私は、魚とカニをゲットし、氷の入ったクーラーボックスに入れ家に帰った。

魚は、さばいて塩焼きにした。

カニは、氷水の試練を耐え、驚異の生命力を発揮！流水にさらすと、温度が上がったせいか、ますます元気になった。

私は、そこまでカニが食べた

いわけではない。

その生命力に敬意を表し、近くの川にそっと放った。

私はカニを助けたのだ。

「お父さんはカニを助けた。ぶくぶく泡を吹くカニに似た人が何か届け物をしてきたら、それはカニの『恩返し』だから。ありがたく受け取りなさい」

次の日、私がよく行く店でこの話をした。

すると店主が言った。

「カニね…まだまだやね。自分の知り合いはときどきカメを助けているよ」

なに、カメ…だと？

聞けば、近くのお堀のカメが道路にひっくり返って動けなくなっていることがあるらしく、それを優しく元の場所に戻しているというのだ。

カメを助けると「竜宮城」とか「乙姫様」とか、かなりいいことがありそうなことは、子供の頃から知っている！

恩返しという視点ではカメはカニより筋がいい。

私は「負けた」と思った。

早速、カメ出現ポイントの情報詳しく聞いて家に帰った。

「よく聞きなさい。こんどはカメも助けるから。背中に甲羅のようなモノを背負った人が贈り物を持って来たら、それはカメの『恩返し』だから。ありがたく頂戴しときなさい」

私はチャンスを逃さない男なのだ。 ふふふ。

しかし次の瞬間、「でも…結局、浦島太郎は幸せにはなれなかったよね？」

極めて冷静な反論が・・・。

「玉手箱…あの悪魔のボックス…」・た、確かに。

ああ、私は助けるべき対象を間違ってしまった。

何かほかの、確実に私に利益をもたらす動物を私は助けなければならない。

それはいったいなんだ？

おっ、ツル…か？！

「けっして覗かないでください」そう言って「つう」は反物をおじいさんに残した。

ツルこそ恩返しの本命だ。

これだ！と、いうわけで、私は、いま困っているツルの情報を探しています。

決して覗きません。

だってそのほうがずっと反物を作ってくれるから。

ブラックな労働環境はきっとこうやって生まれている。

人間とは、どこまでも強欲な生き物である。

皇帝ダリア



皇帝ダリアが咲いた。今年は無常気象のためか、なかなか伸びず、

花芽もつかなかったが、11月になって、気候が良くなったのかようやく花開いた。

この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。丁寧な作業を心がけていますが、袋や用紙、宛名カードの材質の影響で、多少のずれやしわ、ゆがみなどはご容赦ください。



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

山ちゃんの映画観ておぼし

後妻業の女



監督：鶴橋 康夫
出演：大竹しのぶ
豊川 悦司
尾野真千子
長谷川京子
水川あさみ
2016年 東宝

結婚大国・日本。結婚相談所が全国に約4000軒、利用者60万人といわれる。

長寿化、核家族化に伴う結婚観の変化、年金制度改革により熟年離婚件数は急増し、65歳以上の一人暮らしが約600万人。65歳以上の男性5人に1人、女性2人に1人が独身…。

そこに目をつけて、金持ち男の後妻に入り、財産を奪うのが、後妻業の女である。

結婚相談所に限って言えば、男の高齢者がよくモテる。

第一条件は資産があること。持病があればなおいい。看取る時間の効率が良いから、女同士

の取り合いになったりするから…。

世の男性の皆さん、特に65歳以上の皆さん、女性は、怖い・怖い・怖い…。

くまさんのコンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

障害者権利条約と障害者福祉

障害者福祉施設F



福岡県内の障害者福祉施設Fで、「より良い施設をめざして」と学習会。障害者権利条約の内容や障害者総合支援法のポイントなどを学ぶとともに、法人・施設の理念と活動を振り返りながら理解を深めました。

同法人・施設は、1981年に障害者の小規模作業所として開設以来、現在、多機能型作業所として、障害のある人たちの働く・暮らしを支える場と

して活動しています。



編集後記

福岡市の博多駅前で起きた大きな道路陥没事故は、1週間で、道路表面の復旧工事は完成して通行できるようになった。



この大規模な道路崩落が起きた場所は、事務所からもそう遠くなく、日頃からよく通る場所。“まさかこんなところで”とびっくりした。

この事故は、福岡市の地下鉄工事に伴う崩落事故で、今回、3回目と聞いて2度びっくり。さらに、この崩落事故を起こした工事を請け負っているゼネコンの専務が「局所的に何か突発的に異常な部分があったと考えるのが自然」とコメントしたのに唖然とした。

地上では日常の生活がある場所。地下鉄工事は、細心の注意をはらい、万全の対策を講じて行われるものと思うのだが。

Relationship & Partnership
Bビジネス総研
ビジネス総研株式会社
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170
 Eメール kuma@b-souken.com
<http://www.b-souken.com>